

「市松改革」に係る評価報告書

令和4年6月

松戸市教育委員会

目 次

I 評価の概要	1
1 評価の目的	
2 評価の進め方	
3 評価の項目	
4 その他	
II 評価	3
1 単位制の導入	
2 学習指導の充実	
3 グローバル教育の推進	
4 入学者選抜における改革	
5 部活動の充実	
6 教育環境の整備	
III 資料	9
1 生徒アンケート調査結果	
2 保護者アンケート調査結果	
3 教職員アンケート調査結果	
4 市立高等学校長聴き取り調査結果	
5 市立中学校アンケート調査結果	
6 基礎データ	
(1) 出身中学校別生徒数	
(2) 入学者選抜倍率	
(3) 進路実績	
(4) 「市松改革」に係る重点項目の実施状況について	

「松戸市立松戸高等学校の教育改革（市松改革）」に係る評価

I 評価の概要

1 評価の目的

令和元年度を改革元年としてスタートとした市立松戸高校改革（以下、「市松改革」という）の実施状況を検証し、成果や課題を明らかにすることで、より実りある「市松改革」を推進するための計画の改善及び策定に資することを目的として評価を実施する。

2 評価の進め方

（1）調査の時期

令和3年12月に実施する。「市松改革」第1期生が入学して3年が経過し、卒業を迎える年に合わせてアンケート調査を実施するとともに、市立松戸高校から聴き取り調査を行った上で、市内の中学校にもアンケート調査を実施し、評価を取りまとめる。

（2）調査の実施

- ア 市立松戸高校の3年次生徒及び同保護者にアンケート調査を実施する。
- イ 市立松戸高校の教職員にアンケート調査を実施する。
- ウ 市立松戸高校校長に調査票及び対面による聴き取り調査を実施する。
- エ 市内の全中学校長にアンケート調査を実施する。

（3）評価の作成

- ア 調査結果は、「市松改革」の重点項目別に整理する。
- イ アンケートや聴き取り調査の結果を踏まえ、「実施状況」、「成果と課題」、「今後の改革推進の在り方」について評価を取りまとめる。

（4）評価の公表

評価結果については、教育委員会及び市立松戸高校のホームページで内容を公表する。

3 評価の項目（「市松改革」における重点項目）

- (1) 単位制の導入
- (2) 学習活動の充実
- (3) グループ教育の推進
- (4) 入学者選抜の見直し
- (5) 部活動の充実
- (6) 教育環境の整備

4 その他

令和元年12月初旬に、中国で新型コロナウイルス感染症の第1例目の感染者が報告され、数か月ほどで世界的な流行となった。市立松戸高校も休校を余儀なくされるなど、教育活動に大きな影響を受けた。

分析不可能であるが、市松改革の1期生は高校生活全体をとおして、新型コロナウイルス感染症の影響を大いに受けている。

Ⅱ 評価

1 単位制の導入について

(1) 実施状況

- ・生徒の多様な興味・関心や希望進路に対応できるよう、令和元年度入学生の教育課程から各教科・科目において幅広い選択制を実施した。

講座数（平成30年度→令和元年度）

普通科 47 → 71 国際人文科 34 → 52

- ・学校設定科目を普通科で26講座、国際人文科で13講座設定し、特色ある教育課程の下で学習指導を行っている。
- ・「言語活用」科を設置して、松戸市内小中学校での学びを活かしている。
- ・生徒の科目選択に当たっては、幅広い選択科目の中から、生徒が自らの興味・関心や希望進路に応じた履修ができるよう、科目選択の類型モデルである「市松キャンパス」を提示し、生徒一人一人の最適な学びのための支援を行っている。

人文社会キャンパス 理数科学キャンパス 医療看護キャンパス
保育栄養キャンパス 体育音楽キャンパス

(2) 成果と課題（○成果、●課題）

- 教育課程の転換を図ることができ、多様な進路希望に対応できる多くの選択科目の設定ができた。
- 多くの生徒が選択科目を活かして進路実現を果たした。
- 完全な単位制を展開するには、教員数や教室数ともに不足している。
- 選択科目をうまく活用できない生徒がいる。

(3) 今後の改革推進の在り方

科目選択の動機づけ、時期、組み合わせ、変更等の運用面で更に工夫改善する。人的・物的支援をさらに充実させる。

2 学習活動の充実について

(1) 実施状況

- ・学力向上及び大学受験に向けた支援として、予備校講師による補習授業を実施した。
 - 令和元年度 予備校講師が来校し進学補習を実施
 - 令和2・3年度 オンデマンドの映像配信授業を実施
- ・生徒の主体的な学びを広げて進路実現を図るため、高大連携事業を実施した。
 - 敬愛大学 聖徳大学 千葉大学 東京海洋大学
- ・学習習慣定着の取組を行った。
 - 宿題による家庭学習の習慣づけ
 - 小テスト、オンライン講座によるすきま時間の活用
- ・進路指導部の計画に基づき、学年ごとに行事として外部試験を実施した。
- ・進路実現に際してストロングポイントとなる資格取得を周知し、校内で受検できる機会を提供するとともに校内での補習体制を強化した。

(2) 成果と課題 (○成果、●課題)

- 高大連携は、生徒が専門的な知識・技能に触れる場となっている。
- 職員の授業や進路指導への意識が向上した。
- 生徒に学習習慣が定着しつつある。
- 進路指導が充実して、生徒の資格取得が進み、進学実績が伸びた。
- 生徒アンケートの「学習への興味・関心や学力が向上した」の項目で肯定的回答の割合が低い。普通科52%国際人文科44%
- 予備校講師による補習を活用しきれていない。基礎ができていない生徒にとっては、授業との両立や自ら活用することが困難である。

(3) 今後の改革推進の在り方

予備校、学校、生徒間の連携を図り、予備校提携補習を対面と動画配信で行う。ICT活用や探究等の授業改善を図り、深い学びを推進する。

3 グローバル教育の推進について

(1) 実施状況

※新型コロナウイルスの影響で中止や変更になったものについては資料「グローバル教育に係る取組」参照

- ・従来のアメリカ研修（国際人文科2年次）、オーストラリア研修（希望者）を充実させるとともに、マレーシア研修（国際人文科1年次）を導入した。
- ・普通科の修学旅行の行先を、これまでの沖縄から台湾にした。（コロナ禍のため実施ならず。）
- ・異文化理解、交流の機会を増やした。
- ・常駐する複数名のALTを活用し、少人数授業を実施するなど、英語教育の充実を図った。
- ・外国人特別入学者選抜を導入し、普通科で外国人生徒を受け入れた。

令和元年5名 令和2年3名 令和3年2名 令和4年1名

(2) 成果と課題（○成果、●課題）

- 海外研修は貴重な経験の場となり進路選択や学習に活かしている。
- 国際人文科の少人数指導やALTの活用は、学習理解を深めるとともにグローバルに活躍するための積極性の育成にもつながっている。
- 英検取得などの意欲が高まり、受検者数、合格者数ともに上昇した。
- コロナ禍で計画を変更せざるを得なかった。
- グローバル教育への満足度が、国際人文科の生徒（89％）に比べ、普通科生徒（51％）は低い。
- 普通科にALTが入る授業がない。

(3) 今後の改革推進の在り方

普通科のグローバル教育をさらに推進する。ICTの活用など、コロナ禍での海外交流の在り方を工夫し、代替的な体験学習の機会を積極的に設ける。

4 入学者選抜の見直しについて

(1) 実施状況

- ・市内外や外国籍の生徒たちが互いに認め合い、切磋琢磨し、活気あふれる学校を目指し、入学者選抜を見直した。
- ・普通科の通学区域を、松戸市全域から、市内にある県立高校と同様の通学区域に変更した。

第1学区 千葉市

第2学区 松戸市、市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市

第3学区 野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市

第4学区 成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、
富里市、印旛郡内全町

- ・普通科の学級数を8学級から7学級とした。
- ・普通科で外国人の特別入学者選抜を導入した。

(2) 成果と課題 (○成果、●課題)

- 学区拡大は全ての調査群で評価が高く学校の活性化につながっている。
- 学級減により、入試倍率が高くなった。令和3年度からの公立高校の入学者選抜一本化の影響で多くの高校が定員割れとなる中、中学生から選ばれる学校となった。
- 外国人生徒の受け入れの肯定的評価が、生徒(73%)保護者(86%)と教職員(50%)で分かれた。
- 松戸市内の中学生が入学しづらくなっている。

(3) 今後の改革推進の在り方

外国人生徒の指導体制を確立する。「特別の教育課程」を視野に入れながら、日本語指導などの支援を充実させる。

松戸市在住生徒の減少の割合を注視し、卒業生の松戸市への貢献度等を鑑みて、市内中学生優先入学制度の在り方を検討する。

5 部活動の充実について

(1) 実施状況

・期待する生徒像の一つを「スポーツ、芸術活動等に意欲的に取り組み、本校入学後も積極的に活動を継続し、学習との両立を図りながらさらに技能を向上させる意思があること」とし、入学者選抜で実技による自己表現検査を実施した。

以下は市松改革以前からの取組

- ・敷地が広く施設が充実していて、十分な活動を保障している。
- ・地域へのボランティア「部活動プラスワン」により、自己肯定感を高めている。
- ・生徒の自立を促すための、部活動対象研修会を実施している。
- ・バスや部活動振興費などが予算化されている。

(2) 成果と課題 (○成果、●課題)

- 部活動の盛んな学校として、生徒・保護者の満足度が高い。
- 全国大会に出場するなど、成績が向上し、上位に定着する部も出てきている。
- 学区拡大により部員層が厚くなり、互いに切磋琢磨している。
- 専門性を持つ教職員の確保が必要である。
- 施設・設備面で老朽化が進んでいる。
- 学校全体で活発に活動しているが、このまま広く浅く行っていくのか、リーディング部活を作るのか、今後議論が必要である。
- 職員の働き方改革との両立が難しい。

(3) 今後の改革推進の在り方

指導者の充実、施設・設備の充実に努める。

戦略的に特定部活動を強化していくか検討する。

施設・設備面での大規模なリニューアルが部活動振興につながるが、それができなくても魅力を高めるための整備を工夫する。

ICT を活用した職員の業務負担の軽減及びさらなる効率化を検討する。

6 教育環境の整備について

(1) 実施状況

- ・ 数学教室、3－9 教室分割、ICT 教室増設
- ・ 第1 音楽室準備室改修
- ・ 第2 音楽室倉庫改修
- ・ 受変電設備改修
- ・ 照明改修工事
- ・ 配管配線工事
- ・ コンセント増設工事
- ・ LAN 敷設工事
- ・ スクールカウンセラー室移設工事
- ・ グラウンド防球ネット設置工事
- ・ 柔道場天井改修工事
- ・ 合宿所天井・空調機改修工事 他

(2) 成果と課題（○成果、●課題）

- 教室改修などを実施し、単位制の新教育課程に対応できた。
- ICT 活用のための環境整備が遅れている。一人一台端末で学習した生徒の入学に十分備えられていない。
- 教職員に PC が行き渡っていない。教職員の負担が大きい。
- 開校から 47 年が経過し、校舎・グラウンドなどの学校施設の各所全体的に老朽化している。

(3) 今後の改革推進の在り方

一人一台端末での ICT 活用教育時代を見据え、教職員の授業改善及び生徒の深い学びのために、普通教室や大規模教室の ICT 環境を整備する。

引き続き、生徒の安全・安心を最優先にした施設維持と市立高校として魅力ある学校施設の充実を図る。

施設長寿命化・再整備計画を策定する。

Ⅲ 資料

1 生徒アンケート調査結果（3学年生徒 普通科280名、国際人文科38名、計318名）

（1）選択設問

		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
1	単位制導入による選択科目が充実していた。	全生徒	83	158	54	22
		普通科	80	143	39	17
		国際人文科	3	15	15	5
2	多様な選択科目を自身の興味・関心を高めたり、進路選択に役立てたりすることができた。	全生徒	72	158	66	19
		普通科	69	144	47	17
		国際人文科	3	14	19	2
3	授業や学習のための施設・設備等は充実していた。	全生徒	58	156	81	19
		普通科	50	136	72	18
		国際人文科	8	20	9	1
4	予備校と提携した補習授業は大学進学（学力向上）に役立つ取組である。	全生徒	39	127	104	42
		普通科	36	111	93	34
		国際人文科	3	16	11	8
5	大学と連携した取組等、市松の進路指導は自身の進路実現に役立った。	全生徒	59	158	70	27
		普通科	53	140	60	23
		国際人文科	6	18	10	4
6	市松に入学して、自身の学習への興味・関心や学力が向上した。	全生徒	42	123	97	53
		普通科	35	113	85	44
		国際人文科	7	10	12	9
7	自身の希望進路を実現できた（できそうだ）。	全生徒	167	110	27	12
		普通科	144	100	24	10
		国際人文科	23	10	3	2
8	少人数やALTを活用するなど市松の英語教育は充実していた。	全生徒	55	124	96	43
		普通科	34	111	92	43
		国際人文科	21	13	4	0
9	海外への研修旅行や修学旅行は、市松のグローバル教育として有意義な取組である。	全生徒	61	76	67	109
		普通科	36	69	64	107
		国際人文科	25	7	3	2
10	海外からの留学生の受け入れ等外国人の生徒とともに学べる環境は、市松のグローバル教育として有意義な取組である。	全生徒	102	128	64	21
		普通科	82	117	58	20
		国際人文科	20	11	6	1
11	普通科の通学区域を松戸市以外にも広げたことは、市松の活性化に役立った。	全生徒	150	121	36	8
		普通科	128	111	30	8
		国際人文科	22	10	6	0
12	普通科の7学級、国際人文科1学級（年次320名）は適正な学校規模である。	全生徒	122	156	29	6
		普通科	108	139	23	5
		国際人文科	14	17	6	1
13	部活動のための設備・用具等は充実していた。	全生徒	72	135	71	37
		普通科	63	115	65	34
		国際人文科	9	20	6	3

（2）記述設問

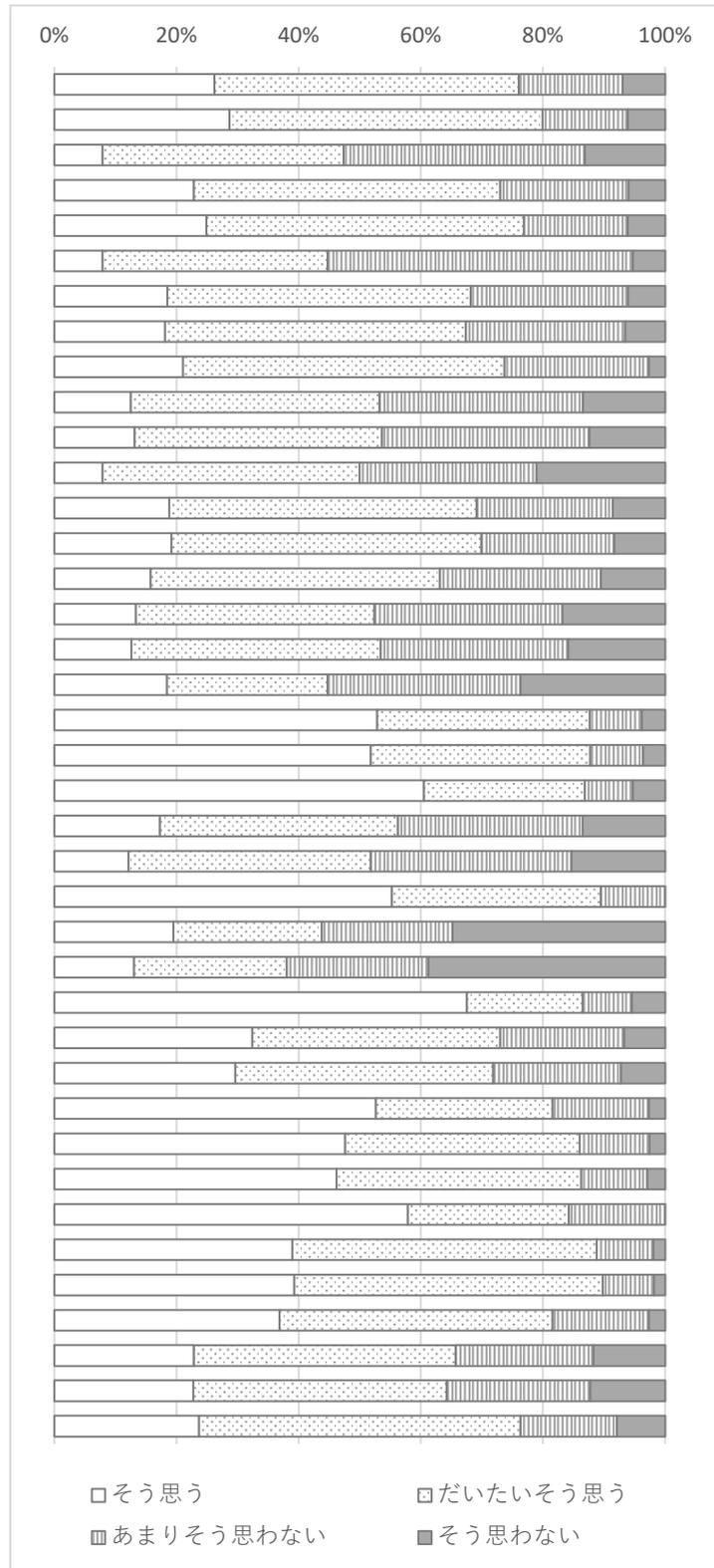
市松で約3年間学んだ感想をお書きください。特に学習指導、グローバル教育、部活動の面から振り返ってお書きください。

（抜粋）

- ・2, 3年次の単位制の授業は、自分の興味・関心のある教科を自由に選べたことはとても良かった。
- ・3年次に人文科も数学研究を選択可能にしてほしい。
- ・グローバル教育への取組は市松ならではであり、入学前からとても興味があった。コロナウイルスが落ち着いてきたらより実現に向けて力を入れてほしい。
- ・グローバル教育という点で、英語の授業に力が入るのかと思ったが、ALTが入っているのは国際人文科のみで、普通科はあまり変化がないと思った。
- ・部活動は充実していて、環境も整っている中で行うことができよかった。

(3) 肯定的・否定的割合

		肯定的	否定的
1	全生徒	76.0	24.0
	普通科	79.9	20.1
	国際人文学科	47.4	52.6
2	全生徒	73.0	27.0
	普通科	76.9	23.1
	国際人文学科	44.7	55.3
3	全生徒	68.2	31.8
	普通科	67.4	32.6
	国際人文学科	73.7	26.3
4	全生徒	53.2	46.8
	普通科	53.6	46.4
	国際人文学科	50.0	50.0
5	全生徒	69.1	30.9
	普通科	69.9	30.1
	国際人文学科	63.2	36.8
6	全生徒	52.4	47.6
	普通科	53.4	46.6
	国際人文学科	44.7	55.3
7	全生徒	87.7	12.3
	普通科	87.8	12.2
	国際人文学科	86.8	13.2
8	全生徒	56.3	43.7
	普通科	51.8	48.2
	国際人文学科	89.5	10.5
9	全生徒	43.8	56.2
	普通科	38.0	62.0
	国際人文学科	86.5	13.5
10	全生徒	73.0	27.0
	普通科	71.8	28.2
	国際人文学科	81.6	18.4
11	全生徒	86.0	14.0
	普通科	86.3	13.7
	国際人文学科	84.2	15.8
12	全生徒	88.8	11.2
	普通科	89.8	10.2
	国際人文学科	81.6	18.4
13	全生徒	65.7	34.3
	普通科	64.3	35.7
	国際人文学科	76.3	23.7



2 保護者アンケート調査結果（3学年保護者 普通科178名、国際人文科26名、計204名）

（1）選択設問

		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	
1	単位制導入による選択科目が充実していた。	全保護者	53	120	22	6
		普通科	48	105	18	4
		国際人文科	5	15	4	2
2	多様な選択科目はお子様の興味・関心を高めたり、進路を選択したりすることに有効であった。	全保護者	56	106	34	5
		普通科	51	92	29	4
		国際人文科	5	14	5	1
3	授業や学習のための施設・設備等は充実していた。	全保護者	49	113	32	2
		普通科	41	98	30	1
		国際人文科	8	15	2	1
4	予備校と提携した補習授業は大学進学（学力向上）に有効な取組である。	全保護者	36	96	57	10
		普通科	34	87	47	5
		国際人文科	2	9	10	5
5	大学と連携した取組等、市松の進路指導はお子様の進路実現に有効であった。	全保護者	48	89	50	9
		普通科	44	78	43	7
		国際人文科	4	11	7	2
6	市松に入学して、お子様の学力や学習への興味・関心が向上した。	全保護者	45	92	48	11
		普通科	40	76	45	9
		国際人文科	5	16	3	2
7	お子様の希望進路を実現できた（できそうだ）。	全保護者	113	69	13	4
		普通科	97	63	9	4
		国際人文科	16	6	4	0
8	少人数やALTを活用するなど市松の英語教育は充実していた。	全保護者	37	104	51	5
		普通科	24	94	49	5
		国際人文科	13	10	2	0
9	海外への研修旅行や修学旅行は、市松のグローバル教育として有意義な取組である。	全保護者	43	83	41	23
		普通科	30	74	38	23
		国際人文科	13	9	3	0
10	特別選抜で外国人の生徒が入学することや海外からの留学生の受け入れは、市松のグローバル教育として有意義な取組である。	全保護者	62	109	21	6
		普通科	52	96	19	6
		国際人文科	10	13	2	0
11	普通科の通学区域を松戸市以外にも広げたことは、市松の活性化に有効であった。	全保護者	99	80	18	4
		普通科	89	69	14	4
		国際人文科	10	11	4	0
12	普通科の7学級、国際人文科1学級（年次320名）は適正な学校規模である。	全保護者	75	99	20	1
		普通科	68	87	15	1
		国際人文科	7	12	5	0
13	部活動のための設備・用具等は充実していた。	全保護者	71	92	24	8
		普通科	65	80	17	8
		国際人文科	6	12	7	0

（2）記述設問

お子様が市松で約3年間学んだ感想をお書きください。特に学習指導、グローバル教育、部活動の面から振り返ってお書きください。

（抜粋）

・選択科目が多いのは本当に良かったと思います。文系・理系だけではなく、好きな科目、学びたい科目で選べて、子供も市松で学べてよかったと話しています。

・大学・予備校と提携した取組なんて聞いたことない。

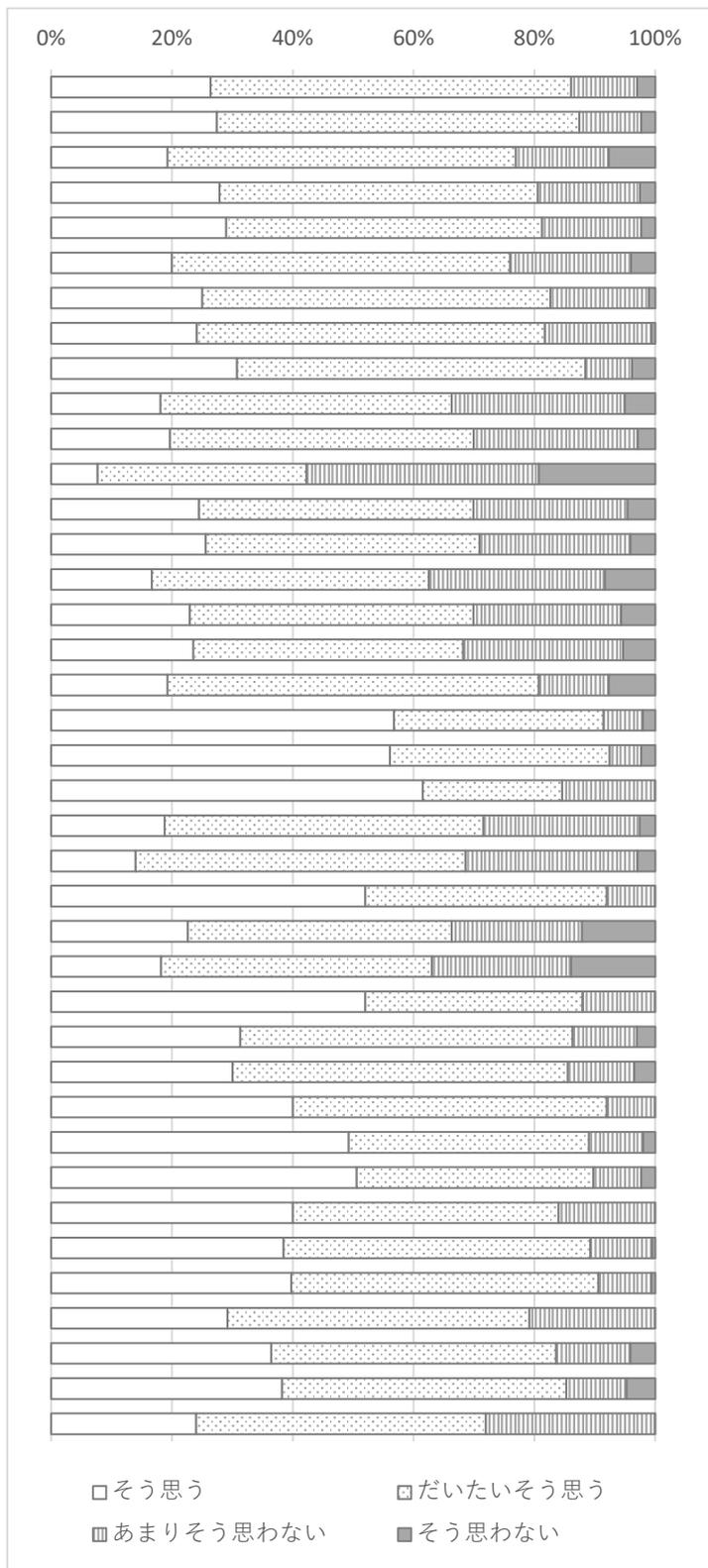
・国際人文科で英語やプレゼンの授業を多く学べたおかげで、学力だけでなく、人とのコミュニケーションをとる積極性や行動力も身につけられたと思います。

・修学旅行変更により、希望通りのグローバル教育ができていなかったのではないかと考えています。

・部活において設備・指導者などは充実しており、大変有意義な3年間だったと思います。

(3) 肯定的・否定的割合

		肯定的	否定的
1	全保護者	86.1	13.9
	普通科	87.4	12.6
	国際人文科	76.9	23.1
2	全保護者	80.6	19.4
	普通科	81.3	18.8
	国際人文科	76.0	24.0
3	全保護者	82.7	17.3
	普通科	81.8	18.2
	国際人文科	88.5	11.5
4	全保護者	66.3	33.7
	普通科	69.9	30.1
	国際人文科	42.3	57.7
5	全保護者	69.9	30.1
	普通科	70.9	29.1
	国際人文科	62.5	37.5
6	全保護者	69.9	30.1
	普通科	68.2	31.8
	国際人文科	80.8	19.2
7	全保護者	91.5	8.5
	普通科	92.5	7.5
	国際人文科	84.6	15.4
8	全保護者	71.6	28.4
	普通科	68.6	31.4
	国際人文科	92.0	8.0
9	全保護者	66.3	33.7
	普通科	63.0	37.0
	国際人文科	88.0	12.0
10	全保護者	86.4	13.6
	普通科	85.5	14.5
	国際人文科	92.0	8.0
11	全保護者	89.1	10.9
	普通科	89.8	10.2
	国際人文科	84.0	16.0
12	全保護者	89.2	10.8
	普通科	90.6	9.4
	国際人文科	79.2	20.8
13	全保護者	83.6	16.4
	普通科	85.3	14.7
	国際人文科	72.0	28.0



3 教職員アンケート調査結果（64名）

(1) 選択設問		そう思う	だいたい そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない
1	単位制導入により選択科目が充実した。	15	38	9	2
2	現在の選択科目の設定は、生徒の学習への興味・関心を高めたり、進路選択に役立てたりすることに有効である。	7	41	11	3
3	授業や学習のための施設・設備等は充実している。	5	29	22	8
4	予備校と提携した補習授業は、生徒の大学進学（学力向上）に有効な取組である。	11	30	17	5
5	大学と連携した取組等、現在の市松の進路指導は、生徒の進路実現のために有効である。	21	30	11	1
6	生徒の学力や学習に対する興味・関心は向上している。	11	39	13	1
7	生徒の希望進路を実現できている。	7	49	8	0
8	少人数やA L Tを活用するなど市松の英語教育は充実している。	18	30	9	7
9	海外への研修旅行や修学旅行の実施は、市松のグローバル教育として有意義な取組である。	18	22	13	10
10	特別選抜で外国人の生徒が入学することや海外からの留学生の受け入れは、市松のグローバル教育として有意義な取組である。	9	22	12	19
11	普通科の通学区域を松戸市以外にも広げたことは、市松の活性化に有効であった。	35	24	3	0
12	普通科の7学級、国際人文科1学級（年次320名）は適正な学校規模である。	28	25	6	4
13	部活動のための設備・用具等は充実している。	13	33	12	4
14	「市松改革」の一連の取組は、市松の魅力づくり、生徒の資質・能力の向上にとって有意義である。	11	39	9	3

(2) 記述設問

「市松改革」の成果や課題等について、お考えをお書きください。

(抜粋)

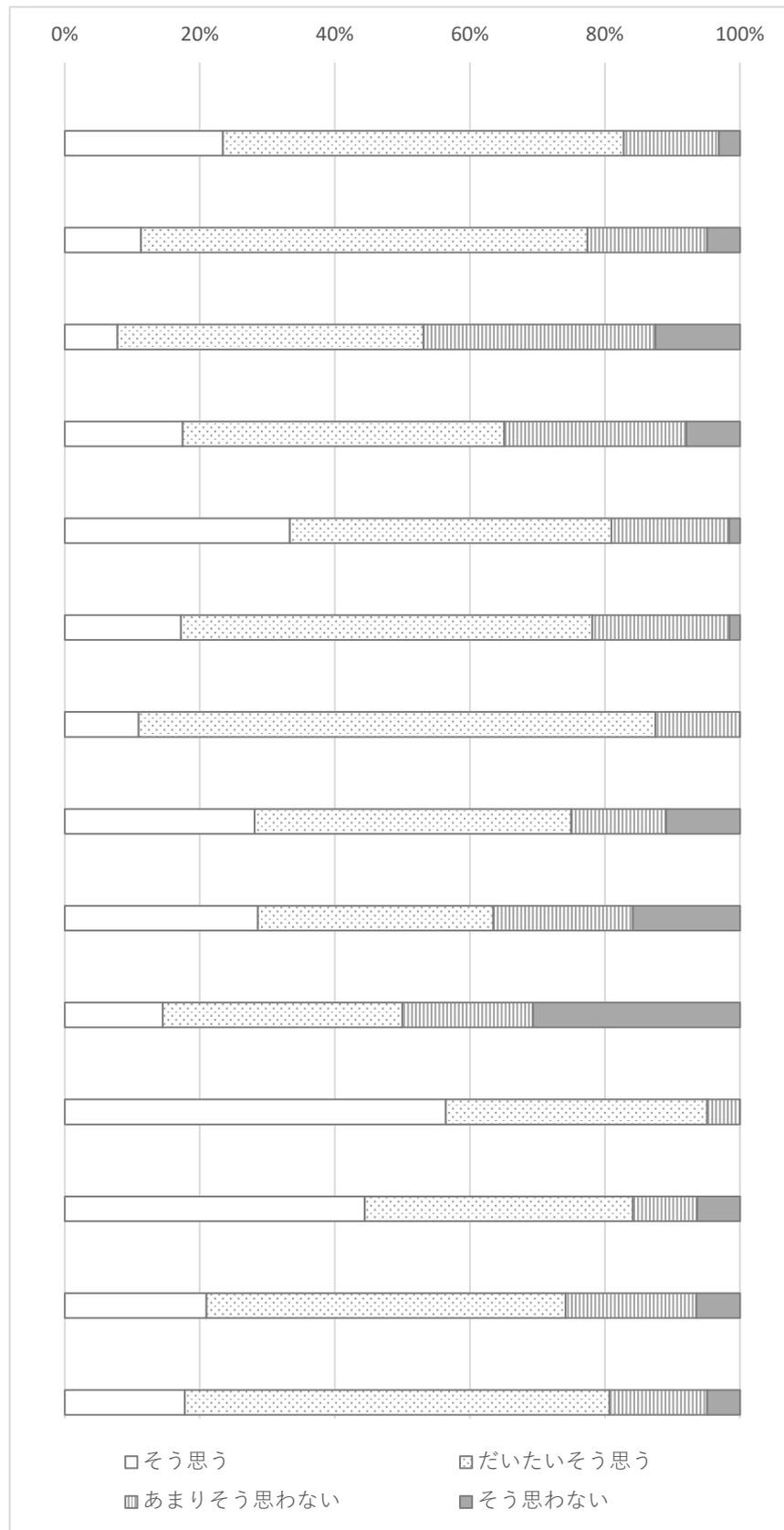
・進路部の尽力、市外へ開いたことによる活性化、何より教員それぞれの努力により、生徒から勉強することが当たり前という空気を感じるようになってきた。学力という柱は確立しつつある。

・もともとある教室の環境整備にも取り組んでほしい。学力向上の観点から各クラスにプロジェクターとスクリーンの設置、タブレットの配布、Wi-Fiの整備を進めていただきたい。

・外国人特別選抜に関して、どのような体制で面倒を見るのか考える必要がある。

(3) 肯定的・否定的割合

	肯定的	否定的
1	82.8	17.2
2	77.4	22.6
3	53.1	46.9
4	65.1	34.9
5	81.0	19.0
6	78.1	21.9
7	87.5	12.5
8	75.0	25.0
9	63.5	36.5
10	50.0	50.0
11	95.2	4.8
12	84.1	15.9
13	74.2	25.8
14	80.6	19.4



4 市立高等学校長聴き取り調査結果

「市松改革」に係る取組についての評価（成果及び課題等）

<p>1 単位制の導入について</p> <p>・「市松改革」の一環で単位制を取り入れることにより、教育課程の転換を図ることができたと考える。特に多様な進路希望に対応できるように選択科目を多く設置できた。その選択科目を活かして自分の進路実現生徒もいる反面、うまく活用できていない生徒もいる。特に選択科目の人数や講座の数などでは、教員の数や授業場所の確保など課題もこれまで以上に出てきている。かなり年度末には調整がきつくなっている。</p> <p>・生徒へのキャリア教育をさらに充実し、科目選択への動機付けを更に図っていくことが求められる。合わせて授業の工夫・改善を図ることが重要と考える。</p> <p>・県では単位制の導入による教員の加配（正規教諭）がされているが、本校ではその加配対応はされていないので授業展開上で厳しいところがある。</p>
<p>2 学習活動の充実について</p> <p>・「市松改革」での入学生の状況から、職員間に授業への意識が変わり、生徒の進路希望実現のための取組をするようになった。（入学者の学力がアップ）</p> <p>・日常的な家庭学習の取組やすき間時間の活用を生徒に促すようになり、学習習慣の定着がされつつある。</p> <p>・高大連携事業を活用し外部講師を招聘して講話等を行っており、専門的な説明や技能を触れ、生徒には有意義なものとなっていると感ずる。</p> <p>・進学希望者が少し増加しており、進路指導部を中心に3年生に対してきめ細かな進路指導をするとともに、個別の学習（面接指導、小論文指導、補習）などで進路実現を支援している。</p> <p>・予備校の講師による補習学習については、対面型、動画型などここ数年工夫してきているが、さらに多くの生徒の参加と継続的な状況把握をすることが大切だと感じた。また、予備校は有効な支援であるが、予備校、学校と生徒が効果的に連携していくことが必要なので今後検討していきたい。</p>
<p>3 グローバル教育の推進</p> <p>・海外研修では現地での学校交流やホームステイなどをとおして、生徒には学校では得られない楽しさ、発見、大変さなど、貴重な経験の場となっている。その経験が自分の進路選択や学習に活かされている。</p> <p>・本校の海外研修を体験した生徒は、外国への留学など改めて挑戦したいと思うようになっている。グローバルな視点が少しずつ育成されていると思われる。</p> <p>・少人数指導やALTとの授業では、英語への理解を高めるとともに、積極性の育成にもつながっていると思われる。</p> <p>・語学の必要性から英検などの検定への挑戦も定着してきている。</p> <p>・コロナ渦において、海外研修・台湾修学旅行など予定していたものが困難な場合、可否の判断、代替措置などでは大きな負担となった。複数のメニューが有るだけに、関係部署の負担も大きかったと思う。また、代替メニューについても可否など常に気を遣うことが多かった。</p> <p>・普通科におけるグローバル教育について、教科の枠を超えて日常的な取組を整理することが必要と考える。グローバル教育は英語に特化したものではないことを共有していきたい。</p> <p>・ALTの活用について検討し、多くの生徒が享受できるようにしていきたい。</p>
<p>4 入学者選抜の見直し（学級減、学区拡大、特別選抜導入等）について</p> <p>・学級減については、入試倍率の点（倍率が上がり人気が出てきている状況となる）からよい方向につながったと考える。（もし、以前のままだったらと考えると多少疑問は残る）</p> <p>・学区拡大は松戸市近隣の中学生が来られるという点でもとてもよい結果となっている。特に武蔵野線沿線（市川・浦安）、北総線沿線（白井・印西）からのアクセスは強みである。</p> <p>・外国人の入学者選抜の導入は、他の生徒との日常的な交流などの点では大きな成果が見られていない。</p> <p>・外国人の入学者選抜の導入は、授業実施、家庭との連携・協力、進路指導面で担任を中心にかなりの負担となっている。特に進路指導については、支援委員会を立ち上げ支援をしているが、外国籍であることが就職の障害となることが判明するなど分からない点も多くある。</p> <p>・松戸市内の中学校から他市の生徒が半数入学している現状から、入りにくい学校という声をいただいている。</p>

5 部活動の充実について

- ・学区を拡げた効果として、近隣から本校の部活動での活動を希望する生徒も多く、切磋琢磨して頑張っている状況が見られる。
- ・全国大会（弓道、陸上、スキーなど）に出場する部や、吹奏楽部、バスケットボールなど上位で活躍する部も定着してきている。
- ・部活動は、働き方改革の点から運営・指導の面で多くの課題がある。特に専門性を持つ教員の確保、大会で上位を維持するための工夫など苦慮している。
- ・生徒も多様化している中、部活動以外の選択肢も増えつつあることから今後の部活動の在り方が重要だと考える。
- ・「市松改革」の中で施設整備については特に手立てがないので、老朽化の修繕以外で魅力ある取組が必要だと思う。

6 教育環境（施設・設備等）の充実について

- ・教室の改修などし、現時点では授業実施の面では大きな支障なく、十分活用している状況である。少人数指導に活用。音楽では専門的な個人指導に活用。ICT室は、各種授業で活用されている。
- ・スクールカウンセラー室の移設（令和3年度中）は、生徒がより利用しやすくなることが考えられる。生徒の様々な支援に寄与すると思われる。
- ・ICT環境の面では改修計画の時点では十分考慮されていなかったため、コロナ禍になり整備の必要性を大きく実感している。特に校内WIFI、プロジェクター、電子黒板などを整備し、より効果的な授業実施とともに、職員の負担軽減につなげていくことが大切である。
- ・「市松改革」の中で体育や部活動関係の施設整備については特に手立てがないので、老朽化の修繕以外で魅力ある取組が必要だと思う。（再掲）
- ・老朽化に伴う改修工事について、引き続き計画的に進められるよう関係部署と協議・連携することが重要である。市教委に対しては、特に市内にある1つの高校として付加価値を高めてもらえるようお願いしたい。

5 市立中学校アンケート調査結果 (20校)

		ア	イ
1	平成31年4月から「市松改革」の一環で、一人一人の生徒の興味・関心などに対応し、幅広い進路選択を可能とするため、単位制を導入しました。このことについてどのようにお考えですか。次のア、イどちらかに○を付けてください。また、イと回答された方は、具体的なご意見をお書きください。 ア 導入してよかった イ 工夫・改善すべき課題がある（「従来どおりでよかった」を含む）	18	2
	ご意見（抜粋） ・生き方の多様化に備え、他の高校にはない科目・講座を設けてほしいと思います。 ・生徒の変容の様子がわからないので、回答が難しい。生徒が主体的に学習に取り組む姿勢が生まれているのだろうか。		
2	「市松改革」における学習指導の充実について、予備校との提携による補習授業や大学と連携した進路講座の実施について、どのようにお考えですか。次のア、イどちらかに○を付けてください。また、イと回答された方は、具体的なご意見をお書きください。 ア 今後も継続でよい。 イ 工夫・改善する課題がある	15	5
	ご意見（抜粋） ・大学進学実績へつながったのか数値でのデータが示されていないでわからない。予備校講座の講座を受けた人数ではなく、その講座を受けた生徒の大学合格実績、どのランクへ何人合格しているのか。その伸び率成果があるのであれば継続、伸びがないのであれば撤退。 ・予備校講座は、市松のストロングポイント。多くの生徒が利用できるように、講座数や時間を増やしてほしいと思います。 ・連携する大学を検討する。ここも今後PRポイントになり、市松を希望する生徒増につながる。		
3	グローバル教育を推進する中で、国際人文科の1年次及び2年次で実施する海外研修旅行、普通科における海外修学旅行、常駐ALTを活用した英語の少人数授業などの取組を行っています。このことについてどのようにお考えですか、次のア、イどちらかに○を付けてください。また、イと回答された方は、具体的なご意見をお書きください。 ア 今後も継続でよい イ 工夫・改善すべき課題がある	15	5
	ご意見（抜粋） ・コロナ禍にあって、海外研修や海外修学旅行が難しい状況がしばらく続くものと思われる。それに代わる取り組みを考えていくことが必要であろう。 国際関係の学科のある高校と異なった特色を出していくことが、入学希望者を維持していくために重要と考える。 ・他校にはない市松のストロングポイント。継続すべきであると思います。 ・コロナ禍により、普通科の海外修学旅行が実施できなかったため、検証が難しいが、普通科に比べ、国際人文科（40人）への財政投入が偏っていると思う。学校全体としてグローバルを標榜するならば、普通科に、海外修学旅行以外にも「グローバル」な特色を付加すべきだと思う。		
4	「市松改革」では入学者選抜の見直しとして、受検可能学区の拡大（松戸市在住者以外も志願可能）、普通科の学級減（8学級→7学級）、外国人の特別選抜の導入を実施しました。このことについて、どのようにお考えですか、次のア、イどちらかに○を付けてください。また、イと回答された方は、具体的なご意見をお書きください。 ア 今後も継続でよい イ 工夫・改善すべき課題がある	15	5
	ご意見（抜粋） ・令和2年度に市内の中3生の減少が見込まれていたための措置であり、令和2年度の公立高校の定員割れ続出の状況を見れば、市外に門戸を開いたことは正解だと思う。 ・学区の拡大を通して、松戸市立学校としての特質・強みをどのように高めていくのか。学級減及び市外受験により、市内在住の入学者が減少している。卒業生の市への還元度・貢献度の検証をしっかりと行い、考察して公表して欲しい。 ・外国人特別選抜については、入学後の日本語指導の充実が望まれる。指導者の確保が難しいのであれば、無理に実施しなくてもいいのではないかと。 ・受検可能学区の拡大を踏まえ学級減は見直ししていただきたい。松戸の受験生のためにも。		

		ア	イ
	<p>「市松改革」では教育環境の整備を推進しています。市立松戸高校の教育環境（施設・設備）について、どのようにお考えですか、次のア、イどちらかに○を付けてください。また、イと回答された方は、具体的なご意見をお書きください。</p> <p>ア 充実している（着実に整備が進んでいる） イ 工夫・改善すべき課題がある</p>	9	11
5	<p>ご意見（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建て替え時期を過ぎている。校舎の老朽化が著しい。魅力ある市立高校を目指すのであれば、校舎リニューアルとグラウンド整備（人工芝、アンツーカー化等）は必須であると考えます。 ・校舎内外において、老朽化が進んでいるところがある。ただし、予算の関係ですべて改修することは難しい。従って「古い」＝「汚い」ではなく、きれいに整理整頓して清潔なイメージを大切にしていきたい。見た目に汚い学校には、通いたくない。 ・あくまでも市立高校として市内の運動・文化・学習施設を補えるだけのものを整備してほしい。 <p>◎体育館の冷房化⇒中学生の大会を安心して実施できる施設 ◎グラウンドの整備⇒運動場として、土を含め安全性に欠けている ◎宿泊施設の整備⇒市内に宿泊研修施設がない。小中高生・一般の方も安心して活用できる施設へ ◎音楽施設⇒音楽の街まつどとして、音楽ホール 小中高・一般の方も利用できる施設へ</p>		
	<p>市立松戸高校では部活動の活性化を掲げて、入学者選抜で実技による自己表現検査を実施するなどの取組を行っています。市立松戸高校の部活動のあり方について、どのようにお考えですか、次のア、イどちらかに○を付けてください。また、イと回答された方は、具体的なご意見をお書きください。</p> <p>ア 活発で充実している イ 工夫・改善すべき課題がある</p>	13	7
6	<p>ご意見（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何よりも指導者の充実であると考えます。中学校のニーズを意識しながら、中、長期的な視点を持ち、どの競技の強化を図るかを考えていくべきだと考えます。 ・学校全体として活発に活動していると思う。この後、広く浅く（県上位狙うくらい）行っていくのか、リーディング部活を作るのか、策が必要ではないか。 ・自己表現検査の得点をあげてほしい。市立松戸で部活動を行いたい生徒の確保には必要不可欠と考えられる。 ・必ずしも強い部活である必要はありません。「部活動が盛んである」といわれる学校であることが重要だと思います。 		
	<p>市立松戸高校について、より魅力ある学校となるために取り組むべきことなどの観点から自由にお書きください。</p>		
7	<p>ご意見（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改革の概要を拝見させていただいたが概ね納得のいく改革だと思う。この改革が定着し、先進的な学校になっていくことを期待している。 ・進むべき方向が中途半端になっていると感じる。学力の向上を望むのか、部活動などの学校の活性化をのぞむのか・・・ ・様々な面でより魅力ある学校づくりを進め、県立高校との差別化が図れるとよいのではないかと考える。市内の中学生がより入学したくなるような学校づくりや、市内の中学校とのさらなる連携を推進していただけると、市立高校としての魅力がアップするのではないと思う。 ・進学実績が最も中学生及び保護者にとって注目する点です。それに部活動との両立をどう図るかだと考えます。 		

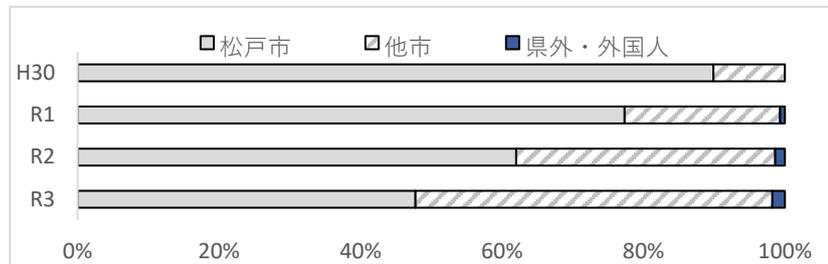
6 基礎データ

(1) 出身中学校別生徒数

年度	1年			2年			3年			計			合計
	松戸市	他市	県外・外国人										
H30	331	36	0	330	35	0	323	40	0	984	111	0	1,095
R1	158	160	7	328	36	0	327	35	0	813	231	7	1,051
R2	141	175	7	158	157	7	325	36	0	624	368	14	1,006
R3	162	155	3	141	174	7	157	157	7	460	486	17	963

全体に占める割合（％）

年度	松戸市	他市	県外・外国人
H30	89.9	10.1	0.0
R1	77.4	22.0	0.7
R2	62.0	36.6	1.4
R3	47.8	50.5	1.8



(2) 入学者選抜倍率

年度	普通科						国際人文科					
	前期選抜			後期選抜			前期選抜			後期選抜		
	募集定員	志願者数	倍率	募集定員	志願者数	倍率	募集定員	志願者数	倍率	募集定員	志願者数	倍率
R1	168	528	3.14	112	197	1.76	40	101	2.53	前期選抜のみで充足		
R2	168	425	2.53	112	184	1.64	40	74	1.85	前期選抜のみで充足		
	一般入学者選抜						一般入学者選抜					
R3	280	345	1.23				40	49	1.23			
R4	280	403	1.44				40	45	1.13	※R3より一本化された		

(3) 進路実績 令和4年3月末進路状況

種別	人数	割合	主な進路先	H30年度割合
大学	205	64.5	上智大学、明治大学、立教大学、中央大学、法政大学、青山学院大学、獨協大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、武蔵野大学、神田外語大学	55.8
短大	12	3.8	昭和学院短期大学、共立女子短期大学、聖徳大学短期大学部、上野学園大学短期大学部、戸板女子短期大学、桐朋学園芸術短期大学	5.5
専門学校	76	23.9	船橋市立看護専門学校、北原学院歯科衛生専門学校、国際理容美容専門学校、千葉・柏リハビリテーション学院、日本健康医療専門学校	29.4
就職	8	2.5	松戸市消防、千葉県警、千葉市消防、浦安市消防、ソフトバンクホークス、株式会社バロックジャパンリミテッド、東京地下鉄(株)	3.6
その他	17	5.3	進学準備、海外留学	5.7

大学進学率（現役のみ）と現役進学率

年度	大学進学率	現役進学率
H30	55.8	90.9
R1	48.5	85.5
R2	56.5	92.5
R3	64.5	92.1

(4) 「市松改革」に係る重点項目の実施状況について
(令和4年3月 市立松戸高校提出調査票より)

1 単位制の導入について

令和元年度からの単位制導入に係る教育課程編成上措置等（選択科目の増加数等）、
具体的な実施状況について

単位制として教育課程を編成しているが、教員数・教室数ともに完全な単位制を展開するには不足しているため、年次ごとの選択科目を増やす形で対応している。令和4年度入学生からの新教育課程でも、同様の展開を想定している。特に3年次に開講予定の第2外国語については、教員（講師など）の確保が大きな課題である。

2 学習活動の充実について

令和元年度以降に実施した事業や授業実践上の取組等について

- 学習支援による予備校講座：オンライン授業を導入し、令和2年度大学進学率56.5%(前年48.5%)
令和3年度大学進学率59.7%(3/11時点)
- 高大連携による主体的学び：令和3年4月に敬愛大学との協定に調印し、教授による出張授業を実施
- 学習習慣の定着への取組
 - ・各教科からの課題（宿題）による学習の習慣化の確立
 - ・すき間時間を活用した基礎・基本の定着を生徒に促している。
※各種小テスト（漢字テスト、単語テスト、確認テスト等への対応）
 - ・すき間時間を利用した予備校講座の視聴（オンライン講座）
- 外部試験の計画的な活用
進路指導部が主体となり各学年に応じ、各種外部試験を行事として実施
 - 1年：基礎学力の定着を図る
 - 2年：進学を意識した模試
 - 3年：各自の進路に対応した模試（大学・短大、公務員、看護など）
- 外部検定試験の受検の周知・啓発の拡充
進路実現に際してストロングポイントとなる資格取得の周知と補修体制の強化
 - ※英検受検者の増加に伴う合格者の増加。漢字検定の開催
 - ※英語科による計画的なきめ細かな受検者への指導。国語科による個別指導。

3 グローバル教育の推進について

令和元年度以降に実施した海外研修旅行その他、グローバル教育に係る行事及び
授業等における取組について

【令和元年度】

- ①マレーシア研修と小学生への報告会 国際人文科1年
- ②アメリカ研修と中学生への報告会 国際人文科2年
- ③オーストラリア研修 希望者 メルボルンの姉妹校に派遣
- ④短期留学生受け入れ 国際人文科2年と普通科2年のクラスに1名ずつ（6月～7月）
- ⑤異文化理解講演会 国際人文科1, 2年生 JICA経験者を講師に迎えての講演会
- ⑥夏季国際理解セミナー参加
- ⑦松戸市国際交流パーティーボランティア
- ⑧松戸市外国人スピーチコンテストボランティア
- ⑨幕張アジアアカデミー事業アジア総合学科による英語の特別授業
- ⑩異文化理解講座 国際人文科1, 2年生 まつど国際文化大使6名程度を迎えての交流会
- ⑪刊行誌”One World”発行

【令和2年度】

- ①モスク訪問に変更、②～⑨中止、⑩オンラインに変更、⑪実施
- ⑫東京海洋大学教授の特別オンライン授業 国際人文科2年生
- ⑬聖徳大学主催 高校生の体験発表会参加

【令和3年度】

- ①モスク訪問と東京グローバルゲートウェイ英語研修に変更、②校内英語研修に変更
- ③～⑨中止、⑩オンライン実施、⑪～⑬実施、⑭台湾高校生とのオンライン交流会参加

4 部活動の充実について

《令和元年度～令和3年度の部活動大会成績一覧》

【全国大会】

- スキー部
 - ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場（令和元年度）
 - ・全国高等学校大会出場（令和2年度）
 - ・全国高等学校選抜大会出場（令和2年度）
 - ・全国高等学校大会出場（令和3年度）
- 陸上競技部
 - ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場（令和3年度・男子走高跳）
- 弓道部
 - ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）出場（令和3年度）
 - ・全国高等学校選抜大会出場（令和3年度）
 - ・国民体育大会 少年の部出場（令和3年度）
- 合唱部
 - ・声楽アンサンブルコンテスト全国大会出場（令和元年度）
 - ・東京国際声楽コンクール 全国本選出場（令和元年度）
 - ・東京国際声楽コンクール本選大会 アンサンブル部門1位（令和2年度）
 - ・東京国際声楽コンクール本選大会 高校1・2年生部門3位（令和2年度）
 - ・滝廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール 個人第1位（令和3年度）
- 美術部
 - ・全国高等学校総合文化祭出展（令和元年度）
- 書道部
 - ・高野山競書大会 審査委員長（令和元年度）
 - ・全国競書大会 金剛峯寺賞 学年優秀賞（令和2年度）
 - ・高野山競書大会 毎日賞（令和3年度）
 - ・全国競書大会 毎日新聞社賞（令和元年度・令和3年度）

【関東大会】

- 陸上競技部
 - ・関東高等学校体育大会出場（令和元年度）男女4×100m 女子4×100m 男子200m 男子8種競技 男女円盤投げ 男子走高跳び
 - ・関東高等学校選手権大会出場（令和元年度）男女4×100mリレー 男女4×100mリレー
 - ・関東高等学校新人体育大会出場（令和元年度）男女円盤投げ 男子走高跳び
 - ・関東高等学校体育大会出場（令和2年度）男子走高跳び
 - ・関東高等学校体育大会出場（令和3年度）男子走高跳び女子400m 女子4×400mリレー
 - ・関東高等学校新人体育大会優勝（令和3年度）女子400mハードル
 - ・関東高等学校新人体育大会出場（令和3年度）女子ハンマー投げ
 - ・関東高等学校選手権大会出場（令和3年度）女子4×400mリレー
- スキー部
 - ・関東高等学校体育大会出場（令和元年度・令和3年度）
- 弓道部
 - ・関東高等学校体育大会出場（令和元年度・推薦出場）
 - ・関東高等学校選手権大会出場（令和元年度）男子団体ベスト16
 - ・関東高等学校選手権大会出場（令和3年度）男子個人ベスト8
- 女子硬式テニス部
 - ・関東公立高等学校大会出場（令和3年度）
- 合唱部
 - ・関東合唱コンクール高等学校部門 金賞（令和元年度）
 - ・関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト出場（令和元年度）
 - ・関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト 合唱部A金賞 合唱部B銀賞（令和3年度）
- 吹奏楽部
 - ・東関東高等学校吹奏楽コンクール 金賞（令和元年度）
 - ・東関東高等学校吹奏楽コンクール 金賞（令和3年度）
 - ・東日本学校吹奏楽大会 金賞（令和3年度）

【県大会（ベスト16以上）・その他】

○野球部

- ・プロ野球ドラフト会議 福岡ソフトバンクホークス育成11位指名（令和3年度）

○ソフトボール部

- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会 ベスト16（令和3年度）
- ・千葉県高等学校総合体育大会 ベスト16（令和3年度）

○サッカー部

- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会 ベスト16（令和元年度）
- ・高円宮杯U-18サッカーリーグ2019千葉Div.3 2位（2部昇格・令和2年度・令和3年度）

○女子サッカー部

- ・千葉県高等学校総合体育大会 ベスト16（令和元年度）
- ・千葉県高等学校新人体育大会 ベスト8（令和元年度）
- ・千葉県U-18女子サッカーリーグ 2部3位（令和元年度）
- ・千葉県高等学校女子サッカー選手権大会 ベスト8（令和2年度）
- ・千葉県高等学校総合体育大会 ベスト8（令和3年度）
- ・千葉県U-18女子サッカーリーグ 2部1位（1部昇格・令和3年度）

○女子バレーボール部

- ・千葉県高等学校新人体育大会 ベスト16（令和元年度）
- ・全日本バレーボール選手権大会（春の高校バレー）千葉県代表決定戦 ベスト12（令和2年度）

○男子バスケットボール部

- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会 ベスト8（令和元年度）
- ・千葉県高等学校総合体育大会 5位（令和元年度）
- ・全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）千葉県予選会 3位（令和2年度）
- ・千葉県高等学校総合体育大会 5位（令和3年度）
- ・全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）千葉県予選会 5位（令和3年度）

○女子バスケットボール部

- ・全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）千葉県予選会 ベスト16（令和元年度）
- ・千葉県高等学校新人体育大会 ベスト16（令和元年度）
- ・全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）千葉県予選会 ベスト16（令和2年度）
- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会 ベスト16（令和元年度）
- ・千葉県高等学校総合体育大会 ベスト16（令和3年度）
- ・全国高校バスケットボール選手権大会（ウインターカップ）千葉県予選会 ベスト16（令和3年度）

○陸上競技部

- ・千葉県高等学校新人体育大会入賞8種目 女子総合8位入賞（令和元年度）
- ・千葉県高等学校新人体育大会出場（令和2年度）

女子4×100mリレー6位 4×400mリレー 6位 女子400m 5位

女子400mハードル 7位 女子ハンマー投げ 7位

- ・千葉県高等学校総合体育大会入賞（令和2年度）

女子4×100mリレー8位 女子4×400mリレー5位

女子400m 5位 女子ハンマー投げ 6位

- ・千葉県高等学校新人体育大会入賞（令和3年度）

女子4×100mリレー8位 女子4×400mリレー5位

女子ハンマー投げ 6位 女子400mハードル 2位

○女子硬式テニス部

- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会 団体ベスト8（令和3年度）
- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会兼千葉県高校総合体育大会

シングルス ベスト16（令和3年度）

- ・千葉県公立高等学校大会 準優勝（令和3年度）

- ・千葉県高等学校新人体育大会 団体 シングルス ダブルス ベスト16（令和3年度）

○バドミントン部

- ・千葉県高等学校1・2年生大会 1年男子シングルス ベスト16（令和3年度）
- ・千葉県高等学校1・2年生大会 1年女子シングルス ベスト16（令和3年度）

○ハンドボール部

- ・千葉県高等学校総合体育大会 ベスト8（令和元年度）

○水泳部

- ・千葉県高等学校選手権大会 個人男子200m平泳ぎ7位（令和3年度）

○剣道部

- ・千葉県高等学校総合体育大会 男子団体ベスト16（令和3年度）

○弓道部

- ・千葉県高等学校選手権大会 男子団体4位, 男子個人優勝, 同5位（令和元年度）
- ・千葉県高等学校秋季通信錬成大会 女子個人準優勝（令和2年度）
- ・千葉県高等学校新人体育大会 男子個人5位（令和2年度）
- ・関東高等学校体育大会千葉県予選会 男子個人準優勝, 女子団体6位（令和3年度）
- ・千葉県高等学校総合体育大会 男子団体優勝（令和3年度）
- ・千葉県高校新人体育大会 男子個人優勝, 同4位, 男子団体準優勝（令和3年度）

- 美術部
 - ・高校生国際美術展 美術の部奨励賞（令和元年度）
- 書道部
 - ・国際高校生選抜書展 入選（令和元年度・令和2年度・令和3年度）
- 合唱部
 - ・NHK全国高等学校音楽コンクール千葉県予選 銀賞（令和元年度）
 - ・千葉県合唱アンサンブルコンテスト 金賞（令和元年度）
 - ・千葉県合唱アンサンブルコンテスト 合唱部A・合唱B部 金賞（令和3年度）
- 吹奏楽部
 - ・千葉県高等学校吹奏楽コンクール 金賞（令和元年度）
 - ・日本管楽合奏コンテスト 最優秀賞（令和元年度）
 - ・千葉県高等学校吹奏楽コンクール 金賞（令和3年度）
 - ・日本管楽合奏コンテスト 優秀賞 ヤマハ賞（令和3年度）
- ESS同好会
 - ・千葉県高等学校生徒英語研究発表大会 第4位（令和3年度）

5 教育施設設備（部活動の施設設備を含む）の充実について

令和元年度以降の整備事業について

普通教室等の改修工事を実施

- 建築工事 ・数学教室、3-9教室分割、ICT教室増設 ・第1音楽室準備室改修 ・第2音楽室倉庫改修
 - 電気設備工事 ・受変電設備改修 ・照明改修工事 ・配管配線工事 ・コンセント増設工事
 - ・LAN敷設工事 他
 - 機械設備工事 ・パッケージエアコン、ルームエアコン設置 ・冷媒管配管工事 他
- 他に
- スクールカウンセラー室移設工事
 - グラウンド防球ネット設置工事